

最小の費用で最大の効果を求める！



無会派(みんなの党) おざわ 脩(所属2名・賛成)

各自治体で持続可能な財政の予算編成がますます重要となっている今日。直近の日本経済は為替や株価が上向き、わずかな景気回復の兆しがあります。とはいえまだまだ本格的な景気回復には程遠く、24年度の市の税収入も減少が見込まれており、依然として本市の財政状況も厳しいなかでの予算編成である。予算編成方針である収支均衡型予算は臨時財政対策債、赤字地方債に依存せず将来負担を減らしていく、既得権益を切り捨てるという意志を感じる予算案であります。そのために、全事務事業を見直し15億1千万の削減に努めた予算となっております、それらに対しては率直に評価をさせていただきたいと思っております。本市は収支均衡型予算でありながらも、市民の幅広い行政に対する期待に応え、なおかつ財政の健全化を進めるという大変に困難な行政課題に真摯な姿勢で取り組んでいかなければなりません。

しかし本当に全事務事業を真摯に見直したのか疑問符がつくような予算配分もされており、『何を目指す収支均衡型の予算なのか。職員体制も含めて、更に考えていくべきである。』いずれにしても『最小の費用で最大の効果をあげるように努める』という地方自治法の本旨にそって行政運営を行うこと。更に条例の策定と提案も費用と時間が掛かるのだから本当に必要な条例なのかをしっかりと精査して提案すべき。そして、より多くの市民の納得が得られる、明確な『説明責任』と『結果責任』が果たされること市長並び行政職員に期待します。

北口最優先で福祉・教育等の切り捨てはダメ



無会派(社民党) 釜我 健二(反対)

市はこれまで北口再開発事業に莫大な予算を投入してきたしこれからも巨額な支出が予定されている。一方で24年度予算は団体補助金の一括カット、公民館事業費50%削減、図書費20%超削減、就学援助費の大幅削減をはじめ福祉・教育・安全・雇用・文化芸術・DV予算など市民が求める切実な予算が軒並み大幅に縮小・削減されている。そんな中、市民合意もなく進められている北口再開発事業であるが、そのために多くの市民が切望する福祉・教育・安全・雇用・DVなどの予算が犠牲になるような市の財政運営は余りにもバランスを欠くやり方であり、とても認めることはできない。

- ①旧ひかり保育園を賃貸している事業者は市との契約に違反し続け、市民の命を危機にさらしている。こんなことは絶対許してはダメだ。
②補助金の一括カットは市の補助金審査会にはかっておらずルール無視と言わざるをえない。
③生きがい事業の見直しは、何ら高齢者への説明も合意もなく進められた。猛省を求める。
④また生きがい事業の見直しについては議会の審査中にもかかわらず、決定事項として市報に掲載された。議会無視もはなはだしい。
⑤新基幹システム導入の業者選定で、市との約束を守らず数年間にわたって注意を受け続けてきた業者が選ばれた。全く理解できない。選定方法に問題があったとしか思えない。
⑥今後、民有地の放射能の除染が課題となる。市として民有地の除染のガイドライン、対応マニュアルをつくり市民の安全を確保すべきだ。

可決したら市民生活に影響が及ぶ予算だ！



無会派(無所属) 甲斐 よしと(反対)

本予算案を市報に“収支均衡型予算”になったと都合の良い所だけ大きく報じたが、本来は市民、市民団体にご無理、ご負担、我慢を強いる事に対して市長からお詫びや説明を丁寧に報じるのが第一義的なことのはずだ。しかも事業の廃止等は当事者との合意をめざし、何度も時間をかけ話し合う時間が必要なはずだった。多摩市長は3週間にわたり13回市民とひざづめで新予算への理解を求めたと報じられている。星野市長には必要な努力が全く無かった。市長自らが制定した自治基本条例違反を犯していると言わざるをえない。そもそも自治基本条例は為政者による強権的な運営をさせない為にある訳で、その為の知る権利、市民参加を保障して行政の一方的な運営をさせないことが目的であるはずだ。市の施設も仕組みも市民のものであり、市長・職員はそれを市民からお預りしているという事だ。この予算案が収支均衡型予算だということも甚だ疑問だ。今年より歳出に見合った歳入の範囲でやっているとスタートするのが収支均衡型になったと言えるもので、委員会答弁のように来年ももっと行革、歳出削減をやらねば...というのは収支均衡になったとは言えないはずだ。改めてまたもや“目的が目標化する星野市政”の特徴があらわになった。市長は聖域なき歳出削減と言いながら、私が指摘した債務負担行為による賃貸借にはデフレ、地価下落なのに全く手がついていない。まさに強きを助け弱きをくじく思想のもとにある。市民に理解を得ようとしてもしい姿勢では認め難い。

次の定例会開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成24年第2回定例会は、6月1日(金)から開会の予定です。議会はどなたでも傍聴できます。審議に関連する資料も自由に閲覧できますので、ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。 ※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。 議事担当(内468)

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成24年第2回定例会(6月1日開会予定)からの審査を希望する方は5月14日(月)までに提出してください。 ※ご不明な点は、事前にお問い合わせください。 調査担当(内581)

賛否の分かれた議案に対する議員の表決結果

Table with columns for party names (自民党新政クラブ, 公明党, 政策, 共産党, ネット, 無会派) and individual council members. Rows list various budget and ordinance proposals with corresponding vote marks (O for support, X for opposition, empty for absence).

・表決 (○=賛成 X=反対 退=退席)
・会派名 (政策=政策民主会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク)